

第2回ステップアップ会議の概要シート

○第2回自由意見

No.	項目	概要	備考
1	ジオパークであることの再確認	30～40年後に今よりも魅力のある山陰海岸であるために	
2		「なぜ」GPが必要か？ほかの方法でもいいのか。改めて考えることも大切	
3		ジオパークである意義を再確認	
4		話し合いを続けるしかないですね	
5		イエローカードが出たことをもっと真剣に考えてほしい	
6		最終目標は山陰ジオパークのブランド化	
7		ジオパークである意義を再確認・世界を変える	
8	顔の見える関係に	名前顔がわかるようにする 機会を設ける	
9		顔が見えるジオガイド(見どころ紹介)	
10		他地域のガイドさんとツアーになれる機会を多くする	
11		連携が豊になれば前向きの発想が出てくる。 三人寄れば文殊の知恵です。	
12		ガイドの名刺交換会も会議の時に設定を	
13	楽しむ！遊ぶ！	ジオパークにいる人・来た人みんな幸せに	
14		僕はジオパークで遊びたい。そんな人他にもいるでしょう	
15		豊かな自然に自信を！	
16		地球を楽しむ 学ぶ 伝える	
17		誰にでもわかりやすく楽しいジオ紹介	
18	子供の学びを大切に	ジオパークの恩恵を受けた子供たちが社会で創造的活躍を！	
19		学校でどのようにジオを学んでいるか、情報共有が必要	
20		子供のジオパークの学びから、親の関心を高めることが重要	

No.	項目	概要	備考
21	住民へのジオパークの普及	食でつなぐジオパーク ジオカフェ	
22		ジオパークに対する一般住民の関心の薄さをどうするか？ →メリットが見えない	
23		各地を発展させるため、6班のまとめに共感！地域の産物を利用した食事、ほか有効利用すること	Geo-1グランプリ
24		「人々の暮らし」もテーマにあるが、あまり注目されていない。すそのを広げる手立てになるのでは	
25		山陰海岸ジオパークのゆるキャラを作る	
26		ジオの浸透のため、出前講座 ジオツアー	
27		ジオパークについて住民に理解してもらう努力	
28	案内・ガイドメニュー	雨天時でも対応できるガイドメニューを準備する	
29		ボランティアガイドと有償ガイド、立ち位置の整理を	
30		魅力あるガイドをする	
31		来訪者のニーズを把握したうえで喜ばれる情報を	
32		ジオを活用した企業の支援	
33		情報だけでなく、体験を伴ったおすすめを来訪者に伝える	
34	成功体験・イベント情報の共有	当地の取り組みを他地域のガイドに評価してもらう	
35		成功体験の共有シェア・いいね	
36		成功体験＝ジオの魅力 実例集→ふるさと学習へ	
37		イベント情報の結果等各地域へのフィードバックすることが大切	
38		行事終了後のフィードバックを！！	
39	初心に帰る	初心に帰る！（国立公園・コウノトリの運動も40年の歴史がある）	
40		初心にかえる 当初やっていたことを思い返し、いいことは再開する	

No.	項目	概要	備考
21	その他	ガイドブックが欲しい	
22		日本海岸-1300年史と提携を	
23		危険個所の改善のための費用は出ないですか？	
24		危険(立ち入り禁止)なエリアの改善には特別な予算はでないんですか	
25		「ジオパークを広めたい」本音はどーなの？	
26		各部会での総括が必要	
27		行政の2年ごとの転勤は当然なので、内部で解決してほしい	
28		推進協議会事務局のイベント等を減らして地域の調整をする仕事を増やしてはどうでしょう	
29		受容の気持ちを持つ	
30		ジオパークを地域振興に高める	
31		官から民へ構造改革	
32		取り組みは絵企画段階で共有することが必要 そのためには普段からコミュニケーションをとらないと	
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			